

家庭でできる包括的性教育

包括的性教育は学校だけで行うものではありません。家庭での何気ない会話や声かけも、子どもが自分や相手を大切にすることを学ぶ大切な機会です。子どもの成長に合わせて、どのような声かけができるのか考えてみましょう。



幼少期

体には大切な場所があるんだよ
いやなことはいやと言っていんだよ

 わが家ならこんな声かけ



小学生

困ったことがあったら相談してね
友達でもいやなことは断っていんだよ

 わが家ならこんな声かけ



中学生

男らしさ、女らしさにとらわれなくていいよ
あなたらしさを大切にしていってね

 わが家ならこんな声かけ



高校生

将来のことを一緒に考えてみよう
困ったときは一人で抱え込まないでね

 わが家ならこんな声かけ



声かけのヒント

最後まで話を聞いてみる・一緒に考える・「困ったら相談してね」と伝える

保護者が子どもと性について率直に話す家庭では、子どもが性行為を始める年齢が遅くなり、責任のある性行動を取るようになると言われています。子どもたちが性の健康を実現できるよう、あなたの言葉で正しい情報を伝え対話を重ねていきましょう。

気軽に相談できる「ユースクリニック」

ユースクリニックは、思春期の子どもや若者が、性や体、心のことなどを気軽に相談できる場所です。正しい情報を知りたいときや誰かに話を聞いてほしいときにも利用できます。保護者の方や関心のある方も参加できます。



回目の開催は ➡ 10月18日(日)開催予定 コスモスまつり

もしもこんなことが起きたら…【デジタル時代の性教育】

スマートフォンやSNSは、私たちの生活に欠かせないものになりました。現在の10代から20代前半は、生まれたときからデジタル環境に囲まれて育ったデジタルネイティブ世代です。インターネットやSNSを通じて性に関するさまざまな情報に触れることができる一方で、その中には誤った情報や思わぬトラブルにつながるものもあります。「自分なら大丈夫」と思っている、判断に迷う場面は誰にでもあります。



CASE 1

SNSで知り合った男の子がいるの。学校もすぐ近くみたい。趣味の話で毎日とっても盛り上がるんだ！
ある日「今度実際に会ってみない？」と誘われたけど、どうしよう。

ちょっとまって！それは本当？

SNS上では、相手が本当の年齢や身元を伝えているとは限りません。やり取りをしているうちに親しみを感じても一人で判断せず、保護者や信頼できる大人に相談しましょう。

CASE 2

付き合ってる彼氏に「誰にも見せないから裸の写真を送って」と言われた。彼のことは信用しているから送っても大丈夫かな？

送る前に考えてみよう

好きな人や信頼している人から頼まれると、断りにくいこともあります。でも一度送った写真は完全に消すことができず、思わぬ形で広まってしまう可能性があります。相手が誰であっても「本当に送りたいと思っているかな？」と一度立ち止まって考えることが大切です。

CASE 3

ネットを見たら「生理中は妊娠しない」って書いてあった。本当に正しい情報なのかな？

その情報、本当に正しい？

インターネットには便利な情報がたくさんありますが、誰でも自由に発信できるためすべてが正しいとは限りません。性や妊娠に関する情報は自分の将来にも関わる大切な情報です。ネットの情報をそのまま信じるのではなく、信頼できる情報源で確認する習慣を身につけましょう。